

取扱いの趣旨

酸素が存在する部位から採取した検体に対する嫌気性培養加算の算定は、原則として認められない。

支払基金が公表している取扱いの全文

【検査】

《令和6年11月29日》

370 検体別の嫌気性培養加算の算定について

○ 取扱い

① 次の検体に対するD018の注1に規定する嫌気性培養加算の算定は、原則として認められる。

- | | |
|-----------------------|----------------------------------|
| (1) 経皮的経気管吸引物、経皮的肺穿刺液 | (2) 気管支鏡下採取材料（ProtectedBrush付着物） |
| (4) 腹水 | (5) 子宮頸管分泌物 |
| (7) ダグラス窩からの検体 | (8) 中耳穿刺液 |
| (10) 髄液 | (11) 閉鎖性の膿 |

- | |
|------------------------|
| (3) 胸水 |
| (6) 子宮分泌物 |
| (9) 血液 |
| (12) C A P Dカテーテルからの排液 |

② 次の検体に対するD018の注1に規定する嫌気性培養加算の算定は、原則として認められない。

- | | |
|-----------------|-----------|
| (1) 喀痰 | (2) 咽頭液 |
| (4) 口腔採取物 | (5) 胃液 |
| (7) カテーテル尿 | (8) 尿道分泌物 |
| (10) 皮膚（開放的分泌物） | |

- | |
|----------|
| (3) 鼻腔液 |
| (6) 排泄尿 |
| (9) 腔分泌物 |

○ 取扱いを作成した根拠等

嫌気性培養は、酸素が存在する環境では増殖できない偏性嫌気性菌を検出するための検査である。偏性嫌気性菌が存在する部位（嫌気性環境）から採取した検体を用いて嫌気性培養を実施した場合に有用であり、対象となる検体及び菌種は多岐にわたる。一方、酸素が存在する部位から採取した検体を用いて実施した場合の診断としての正確性は低いと考えられる。

以上のことから、上記①の検体に対する嫌気性培養加算の算定は、原則として認められるが、上記②の検体に対する算定は認められないと判断した。

なお、喀痰については、口腔から採取した場合は認められないが、気管切開口から採取した場合は認められる。

検証結果及び対応状況

検証観点	フォローアップ対象都道府県	備考
①適正な審査割合が低い	石川、山梨、徳島、群馬、秋田、岐阜、高知、沖縄、宮城	適正な審査割合の低い順
②請求どおり・職員	群馬、宮城、岐阜	対象1万件当たり件数の多い順
③請求どおり・審査委員	石川、高知、群馬、秋田、山梨、徳島、宮城、岐阜、沖縄	//

■①から③を通して、請求どおりのレセプトを適正な審査と判断した主な理由

- ・コメントより、認められないとされた検体とは異なる部位から採取した検体に対して実施したものであり、有用な検体を含むことから、妥当と判断した事例

■取扱いと異なる審査の多い都道府県の対応状況

①適正な審査割合が低い：職員及び審査委員の認識誤り（失念、誤解等）

⇒上司から教育及び審査委員長から連絡・再周知

②請求どおり・職員：職員の認識誤り（失念、誤解等によるコンピュータチェックの解除）

⇒上司から教育

③請求どおり・審査委員：審査委員の認識誤り（失念、誤解等）

⇒審査委員長から連絡・再周知

該当件数に対する検証結果

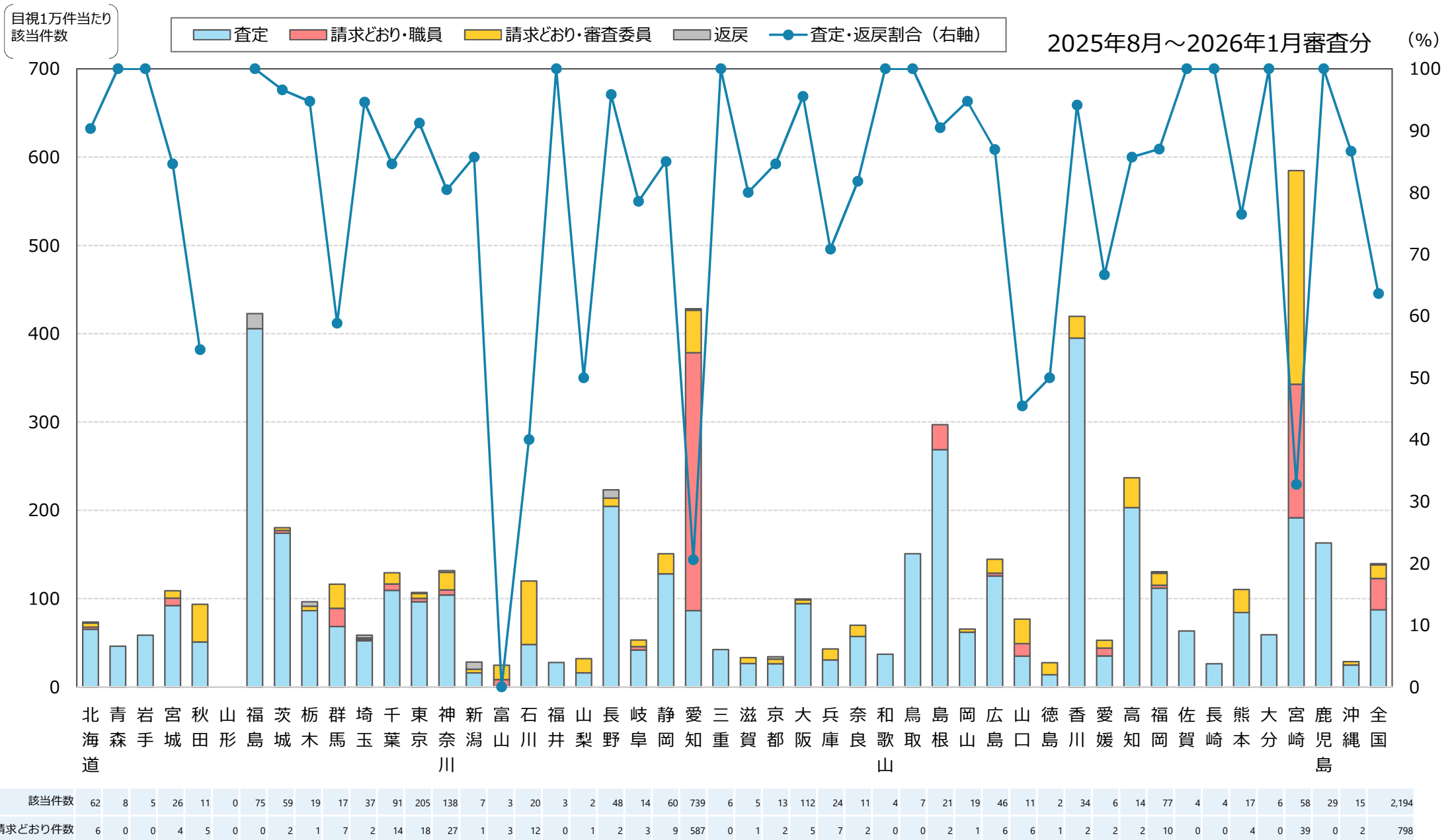
2025年8月～2026年1月審査分

検証の結果、該当件数2,194件のうち、**取扱いと異なる審査は58件（2.64%）**
検証対象22都道府県のうち、**フォローアップ対象は9都道府県**

都道府県		検証結果										
		該当件数	取扱いに基づく適正な審査						取扱いと異なる審査 （ＣＣ解除等の誤処理）			
			適正 審査 合計	適正審査 の割合	査定・返戻			請求どおり	取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員	審査委員
					査定	返戻	査定 返戻 計					
01	北海道	62										
02	青森	8										
03	岩手	5										
04	宮城	26	23	88.46%	22	0	22	1	3	11.54%	1	2
05	秋田	11	8	72.73%	6	0	6	2	3	27.27%	0	3
06	山形	0										
07	福島	75										
08	茨城	59										
09	栃木	19										
10	群馬	17	10	58.82%	10	0	10	0	7	41.18%	3	4
11	埼玉	37										
12	千葉	91	87	95.60%	77	0	77	10	4	4.40%	3	1
13	東京	205										
14	神奈川	138	128	92.75%	109	2	111	17	10	7.25%	6	4
15	新潟	7										
16	富山	3	3	100.00%	0	0	0	3	0	0.00%	0	0
17	石川	20	9	45.00%	8	0	8	1	11	55.00%	0	11
18	福井	3										
19	山梨	2	1	50.00%	1	0	1	0	1	50.00%	0	1
20	長野	48										
21	岐阜	14	11	78.57%	11	0	11	0	3	21.43%	1	2
22	静岡	60	57	95.00%	51	0	51	6	3	5.00%	0	3
23	愛知	739	735	99.46%	149	3	152	583	4	0.54%	0	4
24	三重	6										

都道府県		検証結果										
		該当件数	取扱いに基づく適正な審査						取扱いと異なる審査 （ＣＣ解除等の誤処理）			
			計	適正 審査 合計	適正審査 の割合	査定・返戻						
						査定	返戻	査定 返戻 計	詳記等 から適正	取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員
25	滋賀	5										
26	京都	13										
27	大阪	112										
28	兵庫	24	23	95.83%	17	0	17	6	1	4.17%	0	1
29	奈良	11	11	100.00%	9	0	9	2	0	0.00%	0	0
30	和歌山	4										
31	鳥取	7										
32	島根	21										
33	岡山	19										
34	広島	46	46	100.00%	40	0	40	6	0	0.00%	0	0
35	山口	11	11	100.00%	5	0	5	6	0	0.00%	0	0
36	徳島	2	1	50.00%	1	0	1	0	1	50.00%	0	1
37	香川	34										
38	愛媛	6	5	83.33%	4	0	4	1	1	16.67%	0	1
39	高知	14	12	85.71%	12	0	12	0	2	14.29%	0	2
40	福岡	77	76	98.70%	66	1	67	9	1	1.30%	0	1
41	佐賀	4										
42	長崎	4										
43	熊本	17	16	94.12%	13	0	13	3	1	5.88%	0	1
44	大分	6										
45	宮崎	58	58	100.00%	19	0	19	39	0	0.00%	0	0
46	鹿児島	29										
47	沖縄	15	13	86.67%	13	0	13	0	2	13.33%	0	2
全国		2,194							58	2.64%	14	44

※グレーは検証前データ又は検証の結果により、少数事例に該当



【該当件数】 取扱いの趣旨に該当したレセプト件数